

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム川口結いの家

## 目標達成計画

作成日: 令和 4年 4月 9日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	新型コロナウイルスの影響で、研修機会が少なくなりました。各委員会による勉強会はあったが、認知症の理解を深める勉強会や研修機会がほとんどなかった。	グループホームスタッフとして認知症の理解や知識を深め、より良いケアとサービスの提供に繋げていく。	4ヶ月に一度(年3回程度)スタッフ会議内において、認知症に関する勉強会を実施する。	12ヶ月
2	27	事故発生件数に対して、ヒヤリハット報告書の数が少ない。	気づきを増やし、事故発生の未熟防止に繋げる。	報告書の書式見直し、記載方法の簡素化を図るなど、より報告しやすい方法に変更する。各スタッフに呼びかけ、知識向上を図る。	3ヶ月
3	7	1ユニットのホームであり、ご利用者様との関わりも深い。そのため馴れ合いによって言葉の態度に丁寧さや礼儀を欠いてしまうことがある。	ご利用者様に対して馴れ合いから、言葉遣いや態度が失礼なものにならないように常に意識して接していく。	毎月のスタッフ会議内にて自身の行動を振り返り発表する。反省点や気づき、他者からの視線を意識することで、言葉遣いや態度を修正し、丁寧さや礼儀を常に保ち続けることができるようにしていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。